

えんがる 議会だより



平成23年度各会計当初予算 P 2 ~ 7

● ここが聞きたい!! 一般質問 P 8 ~ 16

● 季観会活動 道内行政調査報告 P 21

平成23年 3月定例議会

平成23年3月開催の第1回定例町議会は、9日に招集され17日までの9日間の会期で開かれました。冒頭、佐々木町長・富永教育委員長から施政執行方針の演説などが行われました。

審議案件は、表彰1件、条例の一部改正2件、平成22年度一般会計などの補正予算7件、平成23年度各会計予算8件、一般議案2件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。

また、議員から意見書3件を提出し、原案のとおり可決しました。

一般質問では、9人の議員が登壇し、町政に関する諸課題について、理事者の考え方をたどしました。

会一致で可決 億8243万円

北2丁目団地公住2号棟 4億円、遠小給食施設 1.8億円

「平成23年度予算は、第1次遠軽町総合計画及び公約に掲げた5つの柱を基本施策として、限られた財源を無駄なく有効に活用し、事業の選択、見直し、検証を行い、地域経済の活性化と町民の期待に応える」としました。

た。

また、合併特例期間である10年間の折り返し地点であり、平成17年度の合併時に借入した合併基

金造成などの元金償還が開始されるため、「経常経費の一層の抑制に努めることともに、事務事業の緊急度・優先度等を十分勘案し、職員一人ひとりの総意工夫と入念な内部協議・検討を行い、最少の経費で最大の効果を上げるため、これまで以上に徹底した事務作業の見直しと厳しい選択を行いました。

社会教育については、「家庭教育のあり方について、総合的に見直すとともに、社会体育施設への指定管理者制度導入について、関係機関と協議を進めてるほか、遠軽町図書館およびえんがる温水プールについては、前年度に引き続き、ゴルフ場に開館する」ことなど、喫緊の課題に対する方針を述べられました。

町長の施政方針 佐々木町長

※新規施策および拡充された事業については、6月7ページに掲載

私たちの暮らしを七つえる

新年度予算審議

予算審査 特別委員会を設置

平成23年度遠軽町一般会計を含む8会計予算については、議長を除く17名の議員により予算審査特別委員会(杉本信一委員長)を設置し、3月14日から16日の3日間にわたりて委員会で慎重に審査した結果、本会議において全会一致で可決しました。なお、審査意見は7ページに掲載しています。



平成23年度各会計予算全会 予算総額 199

各会計の当初予算状況

会計名	H23年度 当初予算額	H22年度 当初予算額	対前年度 比較(%)
一般会計	133億2200万円	130億8万8千円	1.8
国民健康保険特別会計	26億596万4千円	26億5889万1千円	▲2.0
老人保健特別会計	廃止	157万5千円	皆減
後期高齢者医療特別会計予算	2億6249万1千円	2億7356万1千円	▲4.0
介護保険特別会計予算	13億4944万3千円	13億3420万2千円	1.1
簡易水道事業特別会計	廃止	1億876万円	皆減
個別排水処理事業特別会計予算	641万2千円		皆増
公共下水道事業特別会計	廃止	12億9662万2千円	
公共用地先行取得事業特別会計予算	898万円	914万6千円	▲1.8

※老人保健特別会計については、後期高齢者制度の移行により廃止となりました。

※簡易水道事業特別会計については、企業会計（水道事業会計）への移行により廃止となりました。

※公共下水道事業特別会計については、企業会計（下水道事業会計）への移行により廃止となりました。

※企業会計（水道事業会計、下水道事業会計）については、紙面の都合により割愛しました。

→



委員会の様子

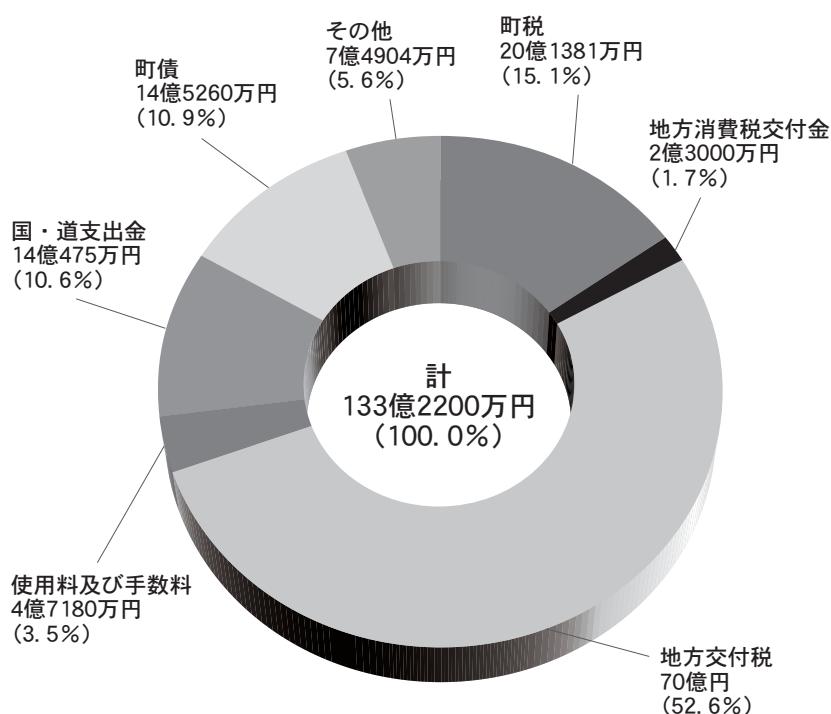
歳 入

歳入では、地方交付税が前年度対比1億円増の70億円が見込まれていますが、町債である臨時財政対策債（交付税で全額補てんされる借金）は5億4千万円減で見込まれているため、実質的には4億4千万円の減少となっています。

また、町税は町民税、たばこ税が減収見込みとしているため、約20億1千万円の計上となっています。

経済状況の低迷により町税減収

限られた予算を有効に



平成23年度一般会計予算

133億円でスタート



委員会の様子

委員長報告

(付帯意見)

下水道の未供用地域を解消するため、全体計画を早急に策定すること。

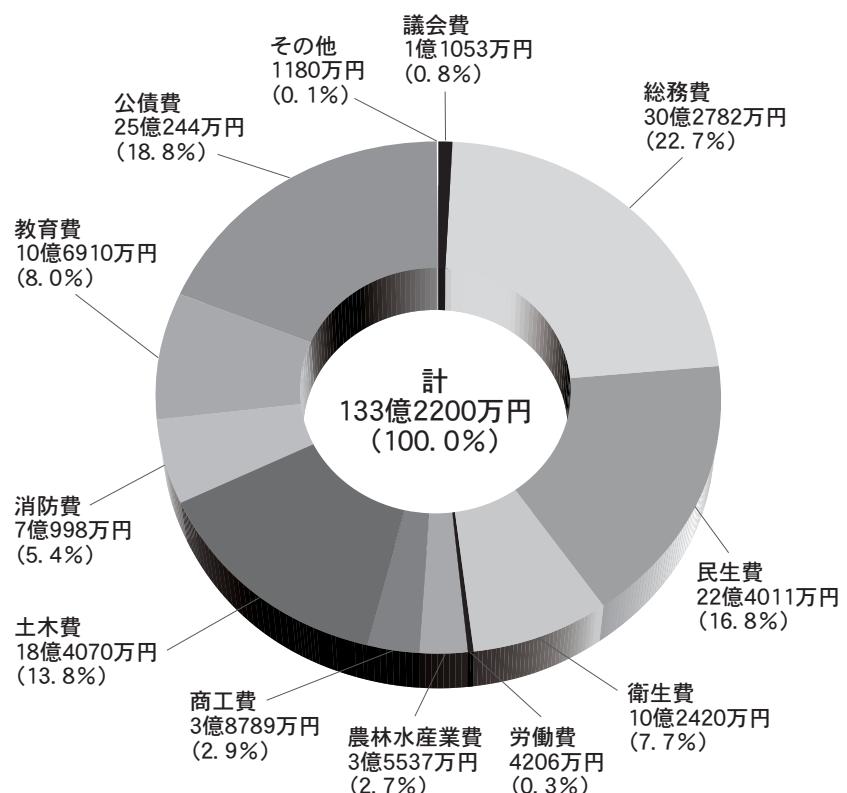
(口頭報告)

個別事業については、未だ縮減の余地があり、加えて一般会計から特別会計への繰出金も年々増加傾向にある。このため、第2次行政改革の着実な実行により、不要、不急の事務・事業の見直しを進め、持続可能な財政運営への転換を図り、これまで以上に良質な行政サービスを提供すべきである。



委員会の様子

歳出



歳出では、医療機器整備関係で1億円が計上されたことにより、衛生費は前年度比1億7千万円増の約10億円となっております。また、公債費（借入金返済費）は、合併時に基金造成の目的で借り入れした、約19億8千万円の償還が本年度から始まるところから、対前年度比2億増の25億円となっております。

合併特例債の償還始まる

新エネルギー関係（拡充）

※なお、従来の「住宅用太陽光発電システムモニター事業」「住宅用太陽光発電システム設置費補助金」については、継続して助成されます。

◆ペレットストーブ 購入に対する助成

平成22年度は、購入費の2分の1で20万円を限度として助成していたものを、平成23年度からは定額30万円（ただし、30万円以下の場合はその金額）を助成するものです。

新規事業 拡充

平成23年度一般会計当初予算における新規事業又は拡充された主な事業等について、お知らせします。



医療体制の整備（新規）

- ・遠軽厚生病院の医療機器に対する助成
- ・生田原診療所の医療機器一部更新
- ・デジタルX線診断装置、デジタル超音波診断装置

保健の充実（新規）

中学校3年生から高校2年生を対象とする子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチン接種に対し、町費により全額負担するものです。
(※一部、在庫不足により受付中止となつていてるワクチンがあります。)

◆ワクチン全額町費負担

公共交通の充実（新規）

北見バスの運行による「遠北線（遠軽・北見間）」が本年3月末に廃止されることに伴い、4月から遠軽・生田原清里間に民間バスが運行されます。町では、その事業者に対して運営費の補助を行います。また、4月から丸瀬布線などの郊外線で使用している「遠軽南町三丁目（南生協最寄）停留所」に、町内循環線のバスが停車するようになりました。

◆4月から遠軽・生田原清里間で
民間バス運行

観光の振興（新規）

◆いこいの森センターハウス建設
観光客の利便性の向上を図るため、セントラーハウスを建設するものです。あわせて、電源工事及び外構工事が行われます。

本施設の機能としては、混雑時の受付窓口の緩和や、地域情報などの発信、キャンプ用品などの販売となっています。

自滝ジオパーク拠点施設
(整備イメージ)

農業の振興（新規）

◆牛ウイルス性下痢・粘膜病対策
本病による酪農家の経済損失を防ぐことを目的に検査料を助成するものです。



南小学校屋内体育館

情報・通信の整備（新規）

◆地上デジタル放送難視聴共同受信施設整備支援
遠軽地域の若松、野上地区、生田原地域の岩戸、伊吹、清里地区の地上デジタル放送難視聴を解消するため、共同受信施設の整備に対応して支援するものです。



丸瀬布いこいの森

文化財の保護・活用（新規）

◆白滝ジオパーク拠点施設の整備
白滝総合支所及び国際交流センターの一部を改修し、白滝ジオパークへの案内機能や、情報発信機能、ミユージアム機能などを整備するものです。
この拠点施設を整備することにより、教育面や観光面などとも連携したまちづくりが進められ、町の活性化が期待されます。

義務教育の充実（新規・拡充）

◆特別支援教育の充実
各学校の障がい児教育を支援するため、これまでの7名から、すべての学校に配置できるよう、16名分の予算を計上するものです。

◆遠小給食施設を新設
遠小に隣接して新たに給食室が整備されるものです。
なお、施設の供用開始は、平成24年度からの予定となっています。

◆南小学校大規模改修

3か年の継続事業として大規模改修工事が実施されます。本年度は、屋体の改修工事と耐震化工事が行われます。

ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。



問 教育長 南小学校の新耐震化診断の結果、大規模地震時において体育館屋根及び壁の耐力不足があり、新年度より3か年計画で、この不足する部分の補強を大規模改修工事をと併せて行うものです。地震時の児童の安全性を確保するとともに、避難場所として地震に対し倒壊、または崩壊する

答 有効活用の方策を検討します

問 旧遠軽小学校の今後の利用計画は



問 大規模の地震でも倒壊・崩壊しにくい、建物の最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図ることを目的とした法津に基づき、遠軽町初の建築施設の新、

耐震化改修工事を、新年度において大規模改修も含め、約9千万円を投じ、南小学校屋内体育館の改修計画が示されておりま

すが、その計画の概要は、また、同校校舎の耐震化はどのようになつていま

答 教育長 遠軽小学校は、校舎棟は新耐震化基準に適合していますので今後の耐震化工事の計画はありません。

問 旧遠軽小学校の今後の利用計画は

この給食施設の移転後、旧遠軽小学校は学校施設としての用途を廃止する考えで、旧校舎などの利用計画は、現在まで学校の用途廃止後の活用計画の具体的な協議はしていませんが、教育委員会としては、公共施設の適正

石田 通行 議員



答

問 遠軽町初の耐震化の工事とは構造補強をして耐震強度を上げます

配置の観点から町全体のなかで、施設の有効活用方策について広く検討していく考えです。また、現在、遠軽町文化センターなどを考える会を中心に施設建設の是非や、在り方などについて検討されていますが、考える会での今後の議論のなか、旧遠軽小学校の活用についても検討される可能性も否定できないことから、当分の間は、その推移を見守つていいく考えです。

ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

遠軽町が定めている学校体育文化活動の振興やスポーツの振興を目的とした助成金制度により、町内の多くの児童・生徒が町の支援を受けて、全国大会や全道大会において活躍しています。中でも、遠軽高校ラグビー部の花園出場や、福島県猫苗代で開催された全国中学校スキー大会において全国優勝の快挙を達成できたのも、遠軽町の応援があつてのことを感じています。

しかし、この制度は、出場する種目や大会日程などによっては、補助対象となる経費が限定的であり、実際にかかる経費に対しての助成が不十分であると感じています。そこで、この制度は、基礎等により、参加費の助成を行っています。



一般質問

高橋 義詔 議員



問

スポーツ・文化振興事業費交付基準等の見直しを実態に合わせた助成見直しを行う

答

遠軽町が定めている学校体育文化活動の振興やスポーツの振興を目的とした助成金制度により、町内の多くの児童・生徒が町の支援を受けて、全国大会や全道大会において活躍しています。

中でも、遠軽高校ラグビー部の花園出場や、福島県猫苗代で開催された全国中学校スキー大会において全国優勝の快挙を達成できたのも、遠軽町の応援があつてのことを感じています。

しかし、この制度は、出場する種目や大会日程などによっては、補助対象となる経費が限定的であり、実際にかかる経費に対しての助成が不十分であると感じています。

特に、全国大会は多額の経費がかかることから、スポーツ及び文化振興事業費交付基準について、昨年、基準を一部改正し、

遠軽町が定めている学校体育文化活動の振興やスポーツの振興を目的とした助成金制度により、町内の多くの児童・生徒が町の支援を受けて、全国大会や全道大会において活躍しています。

中でも、遠軽高校ラグ

ビー部の花園出場や、福島県猫苗代で開催された全国中学校スキー大会において全国優勝の快挙を達成できたのも、遠軽町の応援があつてのことを感じています。

しかし、この制度は、出場する種目や大会日程などによっては、補助対象となる経費が限定的であり、実際にかかる経費に対しての助成が不十分であると感じています。

非常に盛んで活躍しており、他の道内各地から選手も集まってきていました。現時点では遠軽町の考え方をお聞かせいただきたいと思います。

現在、遠軽高校の生徒が全国大会・全道も含めて大会に参加する場合については、遠軽町に在住する生徒について補助を行っています。したがいまして、例えば他の町村から遠軽に住んで遠軽高校に通っている方については、補助対象としてあります。通学をしている方については、補助対象となつていません。

今後の課題として受け止めさせていただきます。

ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

一般質問

山田 和夫 議員



問

生田原伊吹地区の「プライムいぐたはら」「北光学園」「ノルディックファーム」の3施設は地下水を使用していることから、「冬期間の水量減少」が例年発生してあります。

しかし、生田原地域の給水施設は給水能力を超えた量を給水している現状にあり、施設の拡大が必要です。

しかも、3施設が所在する伊吹地区は、上水道の認可区域外にあり、新たに「国の認可」も必要です。

今後の生田原地域にあります。

ける「認可区域の拡大」と「給水施設整備」について、町長の考え方を伺います。

町内を7区域に分けて給水事業を展開しています。生田原の給水施設は、ろ過池3池、配水池2池を保有し、給水能力を5立方m上回る425立

mを供給している現状にあります。

合性を図ることも、計画給水量や施設整備計画など、今後の簡易水道事

業の基本的な方針を策定しなければならないことから、平成23年度予算に「簡易水道事業基本計画策定業務委託費」を計上したところです。

質問のあつた「プライムいぐたはら」「北光学園」「ノルディックファーム」の所在地区は給水区域に含まれていないことから、計画給水人口、給水量の見直し及び施設建設画などのほか、認可する「プライムいぐたはら」「北光学園」「ノルディックファーム」の3施設

区域拡大の事務手続きに若干の時間が必要だと考

う点でも重要な施設であると認識しており、可能

な限り早急に着手したいと考えます。

問

生田原の3施設に上水道を可能な限り早急に着手する

しかも、生田原地域は未整備なことから、将来像として「上下水道供用」も視野に入れ

た総合的な給水量を算出した上で給水施設の拡大を計画しなければなりません。

しかし、伊吹地区に所在する「プライムいぐたはら」「北光学園」「ノルディックファーム」の3施設は、本町にとって「福祉や雇用」とい

とから、「冬期間の水量減少」が例年発生してあります。

しかし、生田原地域の給水施設は給水能力を超えた量を給水している現状にあり、施設の拡大が必要です。

しかも、3施設が所在する伊吹地区は、上水道の認可区域外にあり、新たに「国の認可」も必要です。

今後の生田原地域にあります。

水道事業の今後の計画は、合併から5年が経過し、各地域の人口も減少している現状から、計画給水人口と総合計画の将来人口との整合性を図ることも、計画給水人口の見直し及び施設建設画などのほか、認可する「プライムいぐたはら」「北光学園」「ノルディックファーム」の3施設区域拡大の事務手続きに若干の時間がかかると想定されますが、本町にとって「福祉や雇用」とい



ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。



山谷敬二議員



問

当初予算編成過程の公開を

答 今後の研究課題とします

問 近年、予算編成方

問 近年、予算編成方針から編成過程を丁寧に公表する自治体が増えています。町民の皆さんによく理解できるような予算編成の仕組みについて、また、その過程の公開をしませんか。

により、当初予算の概要を始めとする各種財政情報を開示していく。その過程の公表のあり方にについては、他自治体の事例などを参考に、研究したいと考えます。

算規模の大きなどりの人が
ホームページで公開して
います。

素が多く、未確定な状況の中での査定の内容を明らかにするとついでに、かえって悪化を招く恐れもあるかも。

町長 国は、子ども手当を全額国費で負担する予定でしたが、財源不足により、地方や事業主に負担を求める団體手当法の仕組みを残し、財源を確保したといつていい。

町長

あたつて、県を始め、市町村で反対してくるといふのがあり、地方負担分を予算に計上しないとしている。国の審議いがんによつて、本町におけりの混乱はおつまセんか。

町長 本町の予算編成
作業は、例年10月下旬から財政課長査定を経て、翌年の1月中旬に町長査定を行い、予算書を作成

翌年の11月、毎月に町長答
定を行い、予算書を作成
し、町議会に当初予算を
審議いたたく流れとなつ
ています。

再開 財政課で発行している「まちの収入と使いみち」の中身を見ると丁寧に書いてありますが町民・各団体、議員(など)の要望をどのように精査し反映してこなのが、事業の不採択や予算額の削減が実際にどのように行われたのか、町民にはわからなくなってしまふ。遠軽町よりむりとす。

<p>5</p> <p>平成23年度</p> <p>遠軽町企業会計 予算書</p>	<p>4</p> <p>平成23年度</p> <p>遠軽町一般会計予算書 遠軽町特別会計予算書</p>
<p>遠軽町</p> <p>平成23年度予算書</p>	

問	子ども手当 予算計上の心意は 国からの通知に基づき措置している	答
新年度予算計上に		

福祉課長　国の対応が固まり次第、状況によります。場合によっては広報などでお知らせし、混乱のないようにします。

ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

今、先生方の休憩時間は平均6～7分しか取れていません。また、忙しくて自分の行きたい研究会になかなか参加できないという現実もあります。昨年の5月から道教委は「情報通報制度」を実施して、教職員同士や道民が教職員を監視して、指導要領に基づかない授業がないか、政治的な行動をしていないか直接道

問 平成23年度の教育行政執行方針にある「信頼される学校」は「一人ひとりの教師の信頼にかかる」というのは私も同感です。そのためには、先生方に精神的・物理的な余裕がどうしても必要です。

現実は学校で起きています。
問題を取り除いて、先生
方が余裕をもつて子ども
たちの指導に当たること
ができるよう、条件整備
に責任を果たすべきだと
思います。

教育長

研修に関する



岩澤 武征 議員



問

全力で教育行政に取り組む
真の「信頼される学校」づくりを

先生方の趣も聞いていま
す。 ラバード おとと改書す
心配は出でぬじ悪じせ
す。

す。
ハ西ニシテ
アラシの思ひに

町が支援して行う事業なので、商工会議所・商工会員以外の業者も取扱事業者として登録でき

カソフル剤的速効性が

問 住宅リフォーム
答 助成制度は
5月から建設券
として実施する

問 商工会議所がプレ

効果も見つつ、財政状況
事業の優先度、さらには
緊急度を踏まえて検討し
ていきます。

三アム付き建設券を発売することになりましたが、今後発展的な制度実現に向けて検討すべきです。

町長 今回発行予定の建設工事用プレミアム付き建設券は、リフオーム

だけでなく、土木、建築

※建設業法による主な業種

ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

町長の施政執行方針では「まちの発展は行政の力だけではなく、町民の力が必要であり、無駄のない効果的なまちづくりを進めてまいります。」とあります。

また、行政改革の推進につきましては「この間の検証結果を踏まえて、更なる行政改革を推進してまいります。」とあります。

更に、行政改革推進計画基本方針では「効果的な行政運営体制を確立するため、住民ニーズの迅速かつ的確な対応を可能とする組織を確立し、職員の定員管理及び給与の

適正化に努めます。」とあります。

以上のことを踏まえ、次点について伺います。本所、総合支所との人事異動は進んでいますか。

町長 本所・総合支所の効率化はもとより、住民サービス、利便性の確保、コミュニティの支援、地域づくりを基本としてまいります。

機構の変更や事務の見直し等を行い、適材適所の人事配置を行い、人事異動を進めています。

問 総合支所とは支所と違い、地域のニーズに応えられるよう専門職の配置が必要だと思います。

一般質問

岩上 孝義 議員



問

今後の行政改革の取組は 策定し進める

答

第一次行政推進計画を

効果的、効率的な行政運営の視点から、事務の一元化のため、本所・総合支所の連携強化を図り、総合的に予算編成計画の策定や、政策課題を進めていく役割もあります。

問 総合支所の職員配置は適正と考えていますか。

答 5年間の取組等について、町広報紙等を通じて町民にお知らせしてきましたが、更なる行政改革を進めるため、また、住民主体の魅力ある町づくり、将来にわたる安定した行政運営を進めるためにも第一次行政改

革推進計画を立ち上げた

例えば保健師、土木・建築技師など、最低限のサービスをしなければならないと思いますが、



問 本所・総合支所の位置付けは。

答 定員管理適正化計画策定に基づき、適材適所と地域のニーズに応えられるよう考えていくま

ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。



敬老会

一般質問

高橋眞千子 議員



問 敬老事業の一つとして、平成19年度までは、敬老会が4地域ごとに開催されておりました。その後、各地域の事情もあり廃止となり2年が経過しましたが、自治会単位で敬老会を開催するところが増えてきています。

「ひとりの不幸も見のがさない運動」を進めている、自治会の役員さんは、お年寄りに户外に出ていただき、孤立化を防ぐための事業を考えながら活動をしております。

開催している自治会の役員さんからは、「参加する人が増えてきたことは大変嬉しいことだが、自治会の財政が厳しいことが悩みだ」と言われています。

敬老会を廃止するまでは、議会と行政とで何度も話し合いを重ねてきました。話し合いの中で、自治

役員さんから、「参加する人が増えてきたことは大変嬉しいことだが、自治会の財政が厳しいことが悩みだ」と言われています。

敬老会を廃止するまでは、議会と行政とで何度も話し合いを重ねてきました。話し合いの中で、自治

自治会単位で敬老会開催内容の一部

- 日帰り旅行
- ふれあい昼食会
- 記念品を届ける
- 戸外での焼肉パーティー
- 子どもと老人とで交流（ゲーム等）
(予算の都合で昼食はナシ)

問 敬老会廃止後2年 自治会単位開催への協力は

内容の把握と町で協力できる方策等を検討する

答 内容の把握と町で協力できる方策等を検討する

会単位で開催をすらときには助成してはどうかといたしまして、お年寄りに户外に出ていただき、孤立化を防ぐための事業を考えながら活動をしておりま

かる、今後、どのような手助けができるのかを考える時期だと思いますが、この事業は、敬老会に限りず、昼食会や複数の自治会の協議会単位であります。

町長 敬老会事業については、遠軽町行政改革大綱（平成18年3月策定）、遠軽町行政改革推進計画（同年5月策定）において廃止が検討されました。

自治会によつては、老年寄りを集めて、演芸会などを開催しているものであります。

自治会によっては、お年寄りの引きこもり防止として、多数の方が参加するよう工夫した催し物が行われています。年々件数も増加していると聞

いています。

このような自治会、老人クラブ等の自主的な取り組みを尊重していくとともに、参加される高齢者の年齢や、催し物の内容等については、色々なものがあると思われますので、今後、内容の把握と町で協力できる方策等、財源的なことも含めて関係者の方々と相談し、検討していきたいと考えています。

ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

町長 高齢者の地域見
守りネットワークは、自治会等において「命のバトン」等の取り組みも徐々に広まっていますが、介護保険の対象とならな

問 「家庭訪問付き相談支援事業」について、対象拡大の考えはありますか。

答 地域の自治会や民

地域から孤立する高齢者を、地域全体で支えれるネットワークづくり、また、児童虐待・子育てへの悩み・DV・うつ病・諸問題を抱える若者等を支える、新しい地域福祉の仕組みづくりで、

町民が輝き支え合う社会を願つて質問いたします。

介護等の支援のない高齢者へのサービスについて、どのように考えていましたか。

平成23年度については、介護保険事業計画において、二一ツ調査を行ないながら高齢者福祉の全般について検討していくことがあります。

地域の民生委員との連携も強化します。

問 児童虐待・DV・うつ病など、弱い立場の人々を助ける地域づくりを目指す考えはありますか。

答 様々なケースが考えられますので、その都度、それぞれ、適切な関係機関との連携を強化してまいります。

一般質問

阿部 君枝 議員



問 支えあう地域社会づくりを

答 関係機関との連携のもと個々の問題解決を図る

問 新生児の全戸訪問をしています。各乳幼児健診後、フォローが必要とされた親子に関しては適宜、対応しています。

い自立の方でも、健康状態など外出困難な方に、一定の基準を設け、福祉施設・医療機関までの送迎外出サービスを行つていますが、買い物等のサービスは行つていません。

養士・保育士・母子支援員により、問題点を明らかにしています。子育ての不安などの相談・情報提供等をその対象に合ったフォローをしていきます。

問 二一ツ、引きこもりなどの若者の総合的支援体制の強化について、町長の見解は。

りなどの若者の総合的支援体制の強化について、個々の問題の解決を図ります。

問 様々なケースが考えられますので、その都度、それぞれ、適切な関係機関との連携を強化してまいります。

議会を傍聴してみませんか？

定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、臨時会は必要に応じて隨時開かれます。議会を傍聴される際は、規則がありますので規則を守って傍聴することをお願いします。

ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。



陸上自衛隊遠軽駐屯地

町長 新防衛大綱につきましては、昨年末に計画され、基盤的防衛力構想を転換して、動的防衛力を掲げ、南西重視を鮮明に打ち出しており、先行きは不透明であります。我が遠軽町におきまし

問 遠軽町は、昭和26年に自衛隊の前身である警察予備隊を受け入れて以来、60年の長きにわたり、遠軽駐屯地とともに共存するまちづくりを行ってきました。

また、災害派遣や民生協力等を通じ、町民の安全・安心の礎ともなっています。

本町の人口の約10%を占める自衛隊員や家族等の存在は、地域経済及び地域社会の基盤を形成し、遠軽駐屯地とともに共存するまちづくりを行ってきました。

また、災害派遣や民生協力等を通じ、町民の安全・安心の礎ともなっています。

新防衛大綱で、大幅な削減はありませんでしたが、本町としては安心していられません。陸上自衛隊遠軽駐屯地存置期成会活動を、更に強化していくべきだと思いますが、町長の考えは。

本町の人口の約10%を占める自衛隊員や家族等の存在は、地域経済及び地域社会の基盤を形成し、遠軽駐屯地とともに共存するまちづくりを行ってきました。

また、災害派遣や民生協力等を通じ、町民の安全・安心の礎ともなっています。

新防衛大綱で、大幅な削減はありませんでしたが、本町としては安心していられません。陸上自衛隊遠軽駐屯地存置期成会活動を、更に強化していくべきだと思いますが、町長の考えは。

本町の人口の約10%を占める自衛隊員や家族等の存在は、地域経済及び地域社会の基盤を形成し、遠軽駐屯地とともに共存するまちづくりを行ってきました。

新防衛大綱で、大幅な削減はありませんでしたが、本町としては安心していられません。陸上自衛隊遠軽駐屯地存置期成会活動を、更に強化していくべきだと思いますが、町長の考えは。

本町の人口の約10%を占める自衛隊員や家族等の存在は、地域経済及び地域社会の基盤を形成し、遠軽駐屯地とともに共存するまちづくりを行ってきました。

新防衛大綱で、大幅な削減はありませんでしたが、本町としては安心していられません。陸上自衛隊遠軽駐屯地存置期成会活動を、更に強化していくべきだと思いますが、町長の考えは。

一般質問

今村 則康 議員



問

陸上自衛隊遠軽駐屯地 存置活動の強化を

積極的に存置活動を推進する

存置活動の強化を

答

新防衛大綱につきましては、昨年末に計画され、基盤的防衛力構想を転換して、動的防衛力を掲げ、南西重視を鮮明に打ち出しており、先行きは不透明であります。我が遠軽町におきまし

ても、部隊削減による人口減少が懸念され、町の崩壊につながらないか、危機感を強く感じているところです。

また、地域が高齢化する中で、災害時における自衛隊の存在・依存は増

してあり、部隊削減による災害派遣についても支障が出ないかが心配され

るところです。

昨年は、存置期成会において、駐屯地、第2師団、北部方面総監部、防衛省、及び国会議員に対

し、要望活動を積極的に実行ってきたのを始め、旭川市、上富良野町などを含めた第2師団管内の自治体とともに、関係省庁

への存置活動も行い、更には北海道全ての自治体

が加入する北海道駐屯地等連絡協議会が昨年5月、東京で開催した北海道の自衛隊体制維持を求める中央総決起大会に、自衛

隊協力諸団体の皆さんと参加したといいます。

今後も、遠軽駐屯地の存置活動を積極的に行つ

ていくことは当然ですし、協力関係団体とともに情

報収集を行い、状況に変

化が生じた場合には、速やかに対応したいと考えています。



AEによる授業風景

教育長

今年度についても、一校あたり年35日ないし40日にわたり授業のサポートを行ってあります。

すでに各学校とは新年度から実施される新学習指導要領を想定した中で、新年度においても、現在の配置体制で対応できるものと判断しているとい

うです。

問 現在、町内では3人の英語指導助手(AE)が活躍していますが、多数の児童・生徒に比較して少なすぎるのではないか。配置状況についてどのような考え方。

主な審議内容

補正予算

◆平成22年度遠軽町一般会計補正予算（第7号）は、歳入歳出予算の総額に、448万円を追加し、歳入歳出それぞれ26億9681万円としました。

は、事務事業の予算執行に伴う不用額の減額、国庫の緊急総合経済対策による「地域活性化交付金」に係る事業の追加などを補正するため、歳入歳出予算の総額に、1億8453万円を追加し、歳入歳出それぞれ135億3498万円としました。

更に、「東日本大震災」による見舞金を補正する追加議案が提出され、平成22年度遠軽町一般会計補正予算（第8号）は、歳入歳出予算の総額に、500万円を追加し、歳入歳出それぞれ135億3998万円としました。



(主な歳出内訳)		◆平成22年度遠軽町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）は、歳入歳出予算の総額に、448万円を追加し、歳入歳出それぞれ12億98194万円としました。	◆平成22年度遠軽町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）は、歳入歳出予算の総額に、1160万円を追加し、歳入歳出それぞれ12億98194万円としました。	◆平成22年度遠軽町公共交通機関運送事業特別会計補正予算（第3号）は、歳入歳出予算の総額に、1160万円を追加し、歳入歳出それぞれ12億98194万円としました。	◆平成22年度遠軽町公共施設運営事業特別会計補正予算（第4号）は、歳入歳出予算の総額に、1160万円を追加し、歳入歳出それぞれ12億98194万円としました。
○きめ細かな交付金事業		○住民生活に光をそそぐ交付金事業	○札幌市北区屯田石川なおみ様	・1条通北2丁田藤根郁子様	
2億2016万円		5866万円	(まちづくり振興資金)	(まちづくり振興資金)	
※交付金事業の内容は、18ページに掲載しています。		○障害者自立支援事業	保健特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に、1039万円を追加し、歳入歳出それぞれ1197万円としました。	和田ゆきえ様	
○煙地帯総合整備事業		○企業振興促進助成事業	◆平成22年度遠軽町介護保険特別会計補正予算（第3号）は、歳入歳出予算の総額に、3080万円を追加し、歳入歳出それぞれ13億6532万円としました。	・南町3丁目(まちづくり振興資金)	
1427万円		1500万円	（第3号）は、歳入歳出予算の総額に、3080万円を追加し、歳入歳出それぞれ13億6532万円としました。	・中村フジエ様	
○除雪対策事業		△1477万円	（第3号）は、歳入歳出予算の総額に、3080万円を追加し、歳入歳出それぞれ13億6532万円としました。	・西町2丁目	
(除雪ドーザー購入)		万円を追加し、歳入歳出それぞれ13億6532万円としました。	（文化センター建設資金）	・徳廣富代様	
万円を追加し、歳入歳出それぞれ13億6532万円としました。		（まちづくり振興資金）	・大通北8丁目	・上田稔様	
万円を減額し、歳入歳出それぞれ1億336万円としました。		期間は、平成23年度から平成27年度の5年間とし、新たに「環境に配慮した新・省エネルギーの取組」や、「廃棄物処理施設の整備・更新」などが盛り込まれています。	（まちづくり振興資金）		

表彰

表彰

基本計画

地域活性化 対策費

地域を元氣にする
補生予算額
2億7,883万円

国は、円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策として、新たな「地域活性化交付金」を創設しました。

町では、交付金を財源として、地域の活性化を図るため、平成22年度遠軽町一般会計補正予算（第7号）に、次の事業等（一部掲載）を含む補正予算を計上し、原案のとおり可決しました。なお、事業の実施は、新年度に全額を繰り越し、行われることになります。

事業費300万円以上の事業（抜粋）

（単位：万円）

事業名	予算額
総合庁舎暖房設備等改修工事	450
公共施設地下貯蔵タンク改修工事	1,200
白滝総合支所床補修工事	300
白滝高齢者総合生活福祉センター「ほのぼの」内装改修工事	360
南保育所暖房設備改修工事	396
生田原保育所保育室内装等改修工事	413
丸瀬布保育所暖房設備改修工事	354
生田原歯科診療所外壁改修工事	327
遠紋地域人材開発センター屋上防水工事	1,480
生田原コミュニティセンター「ノースキング」浴場等改修工事	3,420
白滝山の家・文化村ロッジ改修工事	500
南町3丁目6号通道路改良工事	800
3・4・7野上通照明灯設置工事	980
山の手団地物置建替工事	397
共進団地外壁等改修工事	509
遠軽小学校遊具移設等工事	300
生田原中学校暖房設備等改修工事	700
総合体育館トイレ改修工事	352
えんがる多目的広場等芝生改修工事	477
生田原球場グラウンド整備工事	343
小中学校備品（除雪機）購入	463
プレミアム建設券発行事業補助金	538
ロックバレースキー場維持補助金	2,104

※金額は、万円未満を切り捨てて表示しています。

意見書

議員提案により3件の意見案を提出し、いずれも原案のとおり可決し、関係行政庁などへ送付しました。

6月22日政府は「地域主権戦略大綱」を閣議決定し、国の出先機関について、原則廃止の方針を打ち出し、地方運輸局もその対象としている。よって、国においては次の事項について実現するよう強く要望する。

により、医師の地域偏在が進み、地方で勤務する医師の不足が深刻な状況になつてあり、医師不足からくる過酷な勤務状況であるとともに、出張医勤務に多額な費用を要して病院経営が非常に困難な状況にあることから、早急な解消対策が求められている。

住民の安全・安心なくら
しを支える交通運輸行政
の充実を求める意見書
(提出者 岩澤武征議員
他6人 (全員賛成)

地域医療存続のための医師確保に関する意見書
（提出者 岩上孝義議員
他5人 全員賛成）

「子ども・子育て新システム」に関する意見書
(提出者 山田和夫議員
他5人 (全員賛成)

「医は「術」という医療の基本を修得することを期し、医師不足地域での数年間の勤務義務など医師派遣体制を構築する法的措置を講じること。

(提出先) 衆議院議長、
参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣

のある応諾義務、応能負担、公定価格、参入と撤退についての社会的規制に取り組むこと。

次の事項を実現するよう強く要望する。

記

1 子ども園（仮称）について
は、虐待対策や貧困対策などの福祉的機能を持たせ、すべての子どもと保護者に対して公平な利用を保障する施設とするため、市町村の関与

文部科学大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣（少子化対策）

4 学童保育について、
利用保障、市町村関与、
最低基準の設定などの社
会的規制の整備と財源の
保障をもって、幼児期か
らの連続した質の高い保
育環境を実現すること。
(提出先) 衆議院議長、
参議院議長、内閣総理大

制の整備に当たり、何よりもまず安定した医師の確保が必要である。

よつて、国においては地方の医師不足と医師の偏在を解消し、安心できる地域医療体制が存続できるよう、次の事項について実現するよう強く要望する。

記

医師不足の解消や地域ごと・診療科ごとの医師偏在の是正を図るために医師臨床研修において医師の技術修得はもとより「医は仁術」という医療の基本を修得することを期し、医師不足地域での数年間の勤務義務など医師派遣体制を構築する法的措置を講じること。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣

「子ども・子育て新システム」に関する意見書
(提出者) 山田和夫議員
他5人 (全員賛成)

これまで政府においては

検討されてきた「子ども・子育て新システム」の制度設計の一環においては、利用者補助方式、応益負担、利用者と事業者の間の公的保育契約制度の導入、規制緩和による多様な事業者の参入促進などが盛り込まれていることから地方自治体の関与が希薄になり、すべての子どもに質の高い保育や教育を保障するという理念の実現が困難になることも懸念される。よって、国においては次の事項を実現するよう強く要望する。

とを前提として、施設基準や職員配置基準を大幅に引き上げるとともに、人材の確保、定着を図るために施設運営費の使途制限を維持し、人件費が確実に労働者に配分される仕組みとすること。

3 利害関係者の参画と情報開示の義務化を前提とした協議の場を地方自治体にも設置することにより、独自事業も含めて地域の子ども・子育て支援事業全体を評価・監督することが可能な仕組みとする」とこと。

4 学童保育について、利用保障、市町村関与、最低基準の設定などの社会的規制の整備と財源の保障をもつて、幼児期からの連続した質の高い保育環境を実現すること。
(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣（少子化対策）

委員会活動

所管事務調査

総務・文教

- 1月17日 **・ 温水プール及び図書館の臨時開館日における利用状況について**
- ・ 湾別川油流出事故について
- ・ 生田原豊原町有林内における負傷事故について
- ・ 総合計画（後期実行計画）について
- ・ 文化センター等を考える会について
- ・ 生活交通路線の見直し
- ・ 地域活性化交付金について
- ・ 滞納対策について
- ・ ジオパーク推進事業について
- ・ 道外視察調査まとめについて
- ・ 平成23年度一般会計予算について
- ・ 平成23年度一般会計提
- 2月25日
- ・ 3月議会（定例会）提出議案について

民生

- ・ 地域活性化交付金事業（きめ細かな交付金及び住民生活に光をそぞぐ交付金）について
- ・ 平成22年度各会計補正予算について
- ・ 平成23年度各会計予算について
- ・ 平成22年度簡易水道事業特別会計補正予算について
- ・ 平成22年度公共下水道事業特別会計補正予算について
- ・ 平成23年度水道事業会計予算について
- ・ 平成23年度下水道事業会計予算について



経済

- 1月21日 **・ 所管施設調査について**
- 2月9日 **・ 子宮頸がんワクチン接種助成事業について**
- ・ 遠軽町国民健康保険条例の一部改正について
- ・ 遠軽町特別会計条例の一部を改正する条例について
- ・ 平成22年度一般会計補正予算について
- ・ 平成23年度一般会計予算について
- 2月28日
- ・ 平成22年度一般会計補正予算について
- ・ 平成23年度一般会計予算について
- 2月22日
- ・ 平成22年度一般会計補正予算について
- ・ 第23年第1回遠軽町議
- 3月17日

議会運営

- 1月7日 **・ 議会だより第21号の発行スケジュールについて**
- 1月18日 **・ 議会だより第21号の校正について**
- 2月3日 **・ 行政調査について**
- 2月23日 **・ 町議会の運営について**
- ・ 予算審査特別委員会について
- 3月4日 **・ 平成23年第1回遠軽町議会（定例会）について**
- ・ 予算審査特別委員会について

広報

- 1月7日 **・ 議会だより第22号の発行スケジュールについて**
- 1月18日 **・ 議会だより第21号の校正について**
- 3月9日 **・ 紙面担当の割り振りについて**
- ・ 予算審査特別委員会について
- 3月9日

会（定例会）追加議案について

委員会活動

- ◆議会基本条例制定に至るまでの経緯
- ・平成14年6月 本会議インターネットライブ中継開始
- ・平成15年3月 一般質問の一問一答方式を採用
- ・平成16年6月

栗山町は、道都札幌市や苫小牧港、新千歳空港から、それぞれ約1時間の道央圏に位置した人口約13400人のまち。

平成23年2月15日（火）
栗山町議会基本条例について

委員長 高橋義詔
副委員長 黒坂貴行
今村則康 岩澤武征
奥田 稔 山田和夫

議会運営

議員定数を18名から13名にする議案を議決
平成17年3月 道内初の議会報告会を開催

平成18年5月

議会録画中継運用開始

栗山町議会基本条例制定

平成20年3月

議会基本条例改正（議会モニターの設置、議会改革推進会議の設置、調査機関の設置など）

同年12月

議会基本条例改正（住民投票の意思に関する事項を追加）

平成21年3月

議会基本条例改正（議会サポーターの導入）

平成23年2月16日（水）

砂川市地域交流センター ゆう（施設見学）

○議会報告会

○一般会議

○概要

Q 議会報告会への参加者数と年齢構成は。

A 参加者は12会場で約300人程度で、高齢者がほとんどとなっている。

Q 議会報告会で議員の見解に差異はないのか。

A 議決賛否は違つても決定事項の報告なので、個人の賛否については発言しないようにしている。（「私は反対だった」はNG）

○概要

Q 開設 平成19年1月

建築面積約3480m²

・ホール収容人員500人（人口1万9千人）

・総工事費約20億円

・運営 特定非営利活動法人ゆう（指定管理者）

平成23年2月16日（水）

砂川市地域交流センター ゆう（施設見学）

○議会報告会

○一般会議

○概要

Q 議会報告会への参加者数と年齢構成は。

A 参加者は12会場で約300人程度で、高齢者がほとんどとなっている。

Q 議会報告会で議員の見解に差異はないのか。

A 議決賛否は違つても決定事項の報告なので、個人の賛否については発言しないようにしている。（「私は反対だった」はNG）

○概要

Q 開設 平成19年1月

建築面積約3480m²

・ホール収容人員500人（人口1万9千人）

・総工事費約20億円

・運営 特定非営利活動法人ゆう（指定管理者）

平成23年2月16日（水）

砂川市地域交流センター ゆう（施設見学）

○議会報告会

○一般会議

○概要

Q 議会報告会への参加者数と年齢構成は。

A 参加者は12会場で約300人程度で、高齢者がほとんどとなっている。

Q 議会報告会で議員の見解に差異はないのか。

A 議決賛否は違つても決定事項の報告なので、個人の賛否については発言しないようにしている。（「私は反対だった」はNG）

○概要

Q 開設 平成19年1月

建築面積約3480m²

・ホール収容人員500人（人口1万9千人）

・総工事費約20億円

・運営 特定非営利活動法人ゆう（指定管理者）

平成23年2月16日（水）

砂川市地域交流センター ゆう（施設見学）

○議会報告会

○一般会議

○概要

Q 議会報告会への参加者数と年齢構成は。

A 参加者は12会場で約300人程度で、高齢者がほとんどとなっている。

Q 議会報告会で議員の見解に差異はないのか。

A 議決賛否は違つても決定事項の報告なので、個人の賛否については発言しないようにしている。（「私は反対だった」はNG）

○概要

Q 開設 平成19年1月

建築面積約3480m²

・ホール収容人員500人（人口1万9千人）

・総工事費約20億円

・運営 特定非営利活動法人ゆう（指定管理者）

平成23年2月16日（水）

砂川市地域交流センター ゆう（施設見学）

○議会報告会

○一般会議

○概要

Q 議会報告会への参加者数と年齢構成は。

A 参加者は12会場で約300人程度で、高齢者がほとんどとなっている。

Q 議会報告会で議員の見解に差異はないのか。

A 議決賛否は違つても決定事項の報告なので、個人の賛否については発言しないようにしている。（「私は反対だった」はNG）

○概要

Q 開設 平成19年1月

建築面積約3480m²

・ホール収容人員500人（人口1万9千人）

・総工事費約20億円

・運営 特定非営利活動法人ゆう（指定管理者）

平成23年2月16日（水）

砂川市地域交流センター ゆう（施設見学）

○議会報告会

○一般会議

○概要

Q 議会報告会への参加者数と年齢構成は。

A 参加者は12会場で約300人程度で、高齢者がほとんどとなっている。

Q 議会報告会で議員の見解に差異はないのか。

A 議決賛否は違つても決定事項の報告なので、個人の賛否については発言しないようにしている。（「私は反対だった」はNG）

○概要

Q 開設 平成19年1月

建築面積約3480m²

・ホール収容人員500人（人口1万9千人）

・総工事費約20億円

・運営 特定非営利活動法人ゆう（指定管理者）

平成23年2月16日（水）

砂川市地域交流センター ゆう（施設見学）

○議会報告会

○一般会議

○概要

Q 議会報告会への参加者数と年齢構成は。

A 参加者は12会場で約300人程度で、高齢者がほとんどとなっている。

Q 議会報告会で議員の見解に差異はないのか。

A 議決賛否は違つても決定事項の報告なので、個人の賛否については発言しないようにしている。（「私は反対だった」はNG）

○概要

Q 開設 平成19年1月

建築面積約3480m²

・ホール収容人員500人（人口1万9千人）

・総工事費約20億円

・運営 特定非営利活動法人ゆう（指定管理者）

平成23年2月16日（水）

砂川市地域交流センター ゆう（施設見学）

○議会報告会

○一般会議

○概要

Q 議会報告会への参加者数と年齢構成は。

A 参加者は12会場で約300人程度で、高齢者がほとんどとなっている。

Q 議会報告会で議員の見解に差異はないのか。

A 議決賛否は違つても決定事項の報告なので、個人の賛否については発言しないようにしている。（「私は反対だった」はNG）

○概要

Q 開設 平成19年1月

建築面積約3480m²

・ホール収容人員500人（人口1万9千人）

・総工事費約20億円

・運営 特定非営利活動法人ゆう（指定管理者）

平成23年2月16日（水）

砂川市地域交流センター ゆう（施設見学）

○議会報告会

○一般会議

○概要

Q 議会報告会への参加者数と年齢構成は。

A 参加者は12会場で約300人程度で、高齢者がほとんどとなっている。

Q 議会報告会で議員の見解に差異はないのか。

A 議決賛否は違つても決定事項の報告なので、個人の賛否については発言しないようにしている。（「私は反対だった」はNG）

○概要

Q 開設 平成19年1月

建築面積約3480m²

・ホール収容人員500人（人口1万9千人）

・総工事費約20億円

・運営 特定非営利活動法人ゆう（指定管理者）

平成23年2月16日（水）

砂川市地域交流センター ゆう（施設見学）

○議会報告会

○一般会議

○概要

Q 議会報告会への参加者数と年齢構成は。

A 参加者は12会場で約300人程度で、高齢者がほとんどとなっている。

Q 議会報告会で議員の見解に差異はないのか。

A 議決賛否は違つても決定事項の報告なので、個人の賛否については発言しないようにしている。（「私は反対だった」はNG）

○概要

Q 開設 平成19年1月

建築面積約3480m²

・ホール収容人員500人（人口1万9千人）

・総工事費約20億円

・運営 特定非営利活動法人ゆう（指定管理者）

平成23年2月16日（水）

砂川市地域交流センター ゆう（施設見学）

○議会報告会

○一般会議

○概要

Q 議会報告会への参加者数と年齢構成は。

A 参加者は12会場で約300人程度で、高齢者がほとんどとなっている。

Q 議会報告会で議員の見解に差異はないのか。

A 議決賛否は違つても決定事項の報告なので、個人の賛否については発言しないようにしている。（「私は反対だった」はNG）

○概要

Q 開設 平成19年1月

建築面積約3480m²

・ホール収容人員500人（人口1万9千人）

・総工事費約20億円

・運営 特定非営利活動法人ゆう（指定管理者）

平成23年2月16日（水）

砂川市地域交流センター ゆう（施設見学）

○議会報告会

○一般会議

○概要

Q 議会報告会への参加者数と年齢構成は。

A 参加者は12会場で約300人程度で、高齢者がほとんどとなっている。

Q 議会報告会で議員の見解に差異はないのか。

A 議決賛否は違つても決定事項の報告なので、個人の賛否については発言しないようにしている。（「私は反対だった」はNG）

○概要

Q 開設 平成19年1月

建築面積約3480m²

・ホール収容人員500人（人口1万9千人）

・総工事費約20億円

・運営 特定非営利活動法人ゆう（指定管理者）

平成23年2月16日（水）

砂川市地域交流センター ゆう（施設見学）

○議会報告会

○一般会議

○概要

Q 議会報告会への参加者数と年齢構成は。

A 参加者は12会場で約300人程度で、高齢者がほとんどとなっている。

Q 議会報告会で議員の見解に差異はないのか。

A 議決賛否は違つても決定事項の報告なので、個人の賛否については発言しないようにしている。（「私は反対だった」はNG）

○概要

Q 開設 平成19年1月

建築面積約3480m²

・ホール収容人員500人（人口1万9千人）

・総工事費約20億円

・運営 特定非営利活動法人ゆう（指定管理者）

平成23年2月16日（水）

砂川市地域交流センター ゆう（施設見学）

○議会報告会

○一般会議

○概要

Q 議会報告会への参加者数と年齢構成は。

A 参加者は12会場で約300人程度で、高齢者がほとんどとなっている。

Q 議会報告会で議員の見解に差異はないのか。

A 議決賛否は違つても決定事項の報告なので、個人の賛否については発言しないようにしている。（「私は反対だった」はNG）

○概要

Q 開設 平成19年1月

建築面積約3480m²

・ホール収容人員500人（人口1万9千人）

・総工事費約20億円

・運営 特定非

東日本大震災



遠軽町議会議員会（岩上孝義会長）は3月28日「東日本大震災」の被災者に対し、日本赤十字社遠軽分区長（佐々木修一町長）へ義援金10万円を手渡しました。

なお、新政クラブ、町民ネットの2会派も別途義援金を贈っています。一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

3月議会を傍聴して



丸瀬布中町
東 広行さん



本会議での一般質問の一部は、委員会のやり取りを聞いている印象を持ちましたので、もう少し町政全体に関わるような質問を望みます。

また、開かれた議会と議論していることについて、本会議の中でもう少しうまくいきたいと思います。新町発展のため、是非とも議員各位のご活躍を期待しております。

し町民に見えるような工夫があれば、傍聴者も増ええると思います。

3月11日に発生した「東日本大震災」で、大勢の犠牲者と被災者が、そして東京電力の原発事故が重なり日本中が混乱に陥った。

テレビからは、地獄絵図ともいえる映像が流れ、家や家族を失いながらも助かった人は、みんな

命に頑張る姿に涙した人は沢山いるだろう。

犠牲者の搜索や支援のために、国内外からも応援の輪が広がり続けている。

遠軽町も議会

編集後記

に消防士・救急車・自衛隊派遣など、復興支援に取り組んでいる。

被災された皆さんに謹んでお見舞い申し上げます

一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

金を提案、さら

に消防士・救急車・自衛隊派遣など、復興支援に取り組んでいる。

しかし、復興のための予算規模、期間など全く分からぬ中でも、明るく明日に向かっている被

災者、そして物資、義援金を集めるスポーツ選手・芸能人・学生・団体・企業など、一生懸命

な姿を見たとき、人間つ

てすごいと感じた。

反面、原発事故の恐ろしいさと無責任さも見た

気がした。

命をかけての放水、消

火にあたる消防士・自衛

隊員にただただ頭が下がる

る思いだ。

原発の安全性、使用済み燃料棒の処理問題はこれから再議論されるが、

被爆国日本として果たして必要かどうかだ。

便利さや、「コストの問題ではないと思うが、あなたはどう思いますか。

広報特別委員会

奥田 慎